



11月
22日

環境に優しい学校のこと知って



**市立守山中3年生
校区3小学校で
環境学習を発表**
市立守山中学校3年生206人が校区の3小学校を訪問して、6年生児童に環境プレゼンを行いました。このうち立入が丘小学校では、32人の中学生が「ソーパネエコスクール」「地球温暖化」など、6つのテーマで環境に優しい校舎の仕組みや取り組みを紹介しました。児童らはクイズに挙手で答えたり、うなずいたりしながら、熱心に耳を傾けていました。

11月
21日

100年の森で育樹のつどい



**市内企業社員など
約160人が
間伐作業で汗**
市と市内企業で構成する山水会が、びわこ地球市民の森で「育樹のつどい」を開催し、社員や家族など約160人が参加しました。参加者らは、大人も子どももこぎりを手に、樹木の間伐作業に汗を流したり、間伐材クラフト作りを楽しんだりしていました。間伐した中には真っ赤に色づいたモミジもあり、一枝をお土産に持ち帰る人の姿もありました。

11月
27日

野洲川サイクリング&バードウォッチング



**雨にも負けず
野洲川河口で
野鳥観察楽しむ**
中洲公民館が主催し、約15人が参加しました。あいにくの雨により野鳥観察は野洲川河口付近の1カ所となりましたが、「日本野鳥の会滋賀」の会員のアドバイスを受けながら、双眼鏡と望遠鏡を駆使して体験。同会員も県内初観測の希少なソリハシセイタカシギをはじめカイツブリやオオバンなど、たくさん野鳥を観察しました。

11月
26日

ハンドベル体験



**澄んだ音色で
懐かしい歌
演奏できるかな**
吉身学区社会福祉協議会が主催するサロンボランティア活動講座が吉身公民館で開かれ、参加者21人がハンドベルの澄んだ音色を体験しました。立田町の演奏グループ「野いちご」の演奏を鑑賞した後、担当する音が仲間の音と息を合わせて美しい旋律になるよう苦心しながら、「虫の声」など懐かしい童謡の演奏に挑戦していました。



守山市の人口

令和3年11月30日現在
(前月比)

人口	84,904	(+ 84)
男	41,825	(+ 45)
女	43,079	(+ 39)
世帯数	33,786	(+ 21)



双眼鏡

今年も残すところあとわずか。今年も新型コロナウイルスもナウイルスに翻弄された1年だった。来年は「コロナ」が落ち着いて、明るい年になりますように(合掌)▼季語を使い十七文字にまとめた俳句のテレビ番組が人気だ。「かくれけり師走の海のかいつぶり」有名な松尾芭蕉が近江路で詠んだ句である。守山のまちを歩いていると、季語になるたくさん自然に出会える▼春にツクシが顔を出し、仲春に桜のつぼみが膨らみ、初夏にはホタル。田植えのころにカエルがなき、秋に金木犀の香りが漂い、冬の寒さが深まれば雪を真っ白にかぶった比良の山々が見える▼俳句に詠まれるような季語の風景を身近に感じられる守山は「住み続けたい」と思えるまちだと思っ。とりあえず、ご当地師走の風物詩「もりやまいち」が楽しみたい。(マ)